



斐太北

妙高市立斐太北小学校
令和8年5月27日
TEL0255-72-2629
mykohidakita-es@edu-niigata.ed.jp

一步上の自分へ — 150対150、その先に見えたもの —

5月23日(土)に開催した体育大会。今年の競技の部は、なんと「150対150」。赤白同点優勝という結果になりました。

子どもたちからは、「えー!すごい!」「そんなことある!?!」という驚きの声が上がりました。

しかし私は、この結果に、今年の体育大会らしさが表れていたように感じています。

徒競走は昨年から、順位を競うのではなく、「50mか80mを自分で選び、自分の記録更新を目指す」という形で行っています。隣の人に勝ったかではなく、**昨日の自分を超えられたか**を大切にしたい競技です。だから、徒競走は赤白得点には入れていません。

もちろん、団体競技では勝負があります。勝ちたい気持ちも本気です。けれど、その土台には、「自分への挑戦」と「みんなで創る楽しさ」の両方を大切にしたいという思いがありました。

そして、最後まで競い合った結果が、150対150。どちらかが負けるのではなく、最後は互いを認め合うような結末になったことに、大きな意味を感じています。

一方、応援賞は赤組でした。予行練習では、白組は「声が小さい」という課題がありました。しかし、そのままでは終わらせませんでした。「もっと前を向こう」「ここは合わせよう」「もっと声を届けよう」子どもたち同士で具体的に声をかけ合い、改善しようと真剣に取り組む姿がありました。赤組もまた、予行でうまくいったからこそ、「油断しないようにしよう」と応援団を中心に声をかけ続けていました。

そして本番。両軍とも、全身全霊で仲間を応援する姿がありました。勝敗だけでは見えない、**本気で仲間を支える姿**が、そこには確かにありました。

また、今年の体育大会は、子どもたちだけで創り上げたものではありません。当日、聖火ランナーがつかない火から狼煙が上がった瞬間、会場の空気が一気に高まりました。競技補助では、CSの皆様、保護者、地域の方々から力を貸していただきました。さらに、高学年徒競走では、中学一年生の卒業生たちが、クラウチングスタートの足押さえを自然に買って出してくれました。低学年団体競技では、チェッコリダンスをプロジェクトの子どもたちや卒業生が台の上で踊り、会場を盛り上げてくれました。すると、その楽しさに共鳴するように、応援席の3年生から6年生までが自然と体を動かし、一緒に踊り始める姿も見られました。

「やらされる体育大会」ではなく、「みんなで創る体育大会」。

そこには、子どもたちだけでなく、地域や卒業生、保護者も含めた“私たち”の姿がありました。うまくいかなかった時にどうするか。仲間はどう声をかけるか。自分をどう奮い立たせるか。みんなでどう創り上げるか。その一つ一つの積み重ねの中に、「一步上の自分へ」向かう学びがあります。

151年目の体育大会。赤組も白組も、本当によくがんばりました。そして今年もまた、斐太北小らしい体育大会を、子どもたち、地域、保護者、卒業生、みんなで創り上げることができました。支えてくださったすべての皆様に、心より感謝申し上げます。しかし、**151年目の体育大会はまだまだ終わらせません。150対150、その先の物語は、次回のESDだよりでお伝えします。高学年部が新たな挑戦を試行錯誤し始めたのです。**

令和8年度 体育大会

子ども 保護者 CS 地域 みんな大活躍！



～6月の主な予定～

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| 2日（火）1・3・5年知能検査 | 18日（木）高学年校外学習（妙高高原） |
| 4日（木）4年生校外学習（クニシマ-等） | 19日（金）クラブ活動① |
| 9日（火）不審者対応避難訓練 | 23日（火）読み聞かせ会 |
| 12日（金）1・4年歯磨き教室 1年給食試食会 | 25日（木）低学年校外学習（朝日池牧場） |
| 15日（月）読書旬間（～26日） | 1・3・5年耳鼻科検診 |
| 16日（火）児童朝会 いじめ見逃しゼロカール集会 | 26日（金）図書委員会しおりづくり体験会 |